

大野市スポーツ推進計画の骨子(案)

目指す姿 (10年後)	「市民が、それぞれのライフステージでスポーツを楽しみ、健康の増進と競技力の向上が図られ、豊かで充実した生活を送るまち」 ※第六次大野市総合計画前期基本計画 基本目標2-5「スポーツ」の目指す姿に同じ
----------------	--

基本目標	スポーツ参画人口の拡大	スポーツを通じた健康の増進	レベルの高い競技者の育成	子どものスポーツ活動の充実
基本施策	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の提供 スポーツを「する」「みる」「ささえる」人の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツによる健康づくりの促進 	<ul style="list-style-type: none"> レベルの高い競技者を育成するための支援や指導体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツに触れ合うことのできる環境づくりの推進 学校と地域が連携したスポーツ環境づくりの推進
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 成人の週1回以上のスポーツ実施率 市民1人当たりの体育施設の利用回数 		<ul style="list-style-type: none"> スポーツ指導者公認資格の新規取得者数 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが活動に参加できる競技種目数 中高運動部活動の地域人材による指導数
施策	<ul style="list-style-type: none"> 1年を通じたスポーツを楽しむ機会の提供 コロナ禍におけるスポーツ活動の継続 スポーツイベントの充実 スポーツイベントやスポーツ施設の情報発信 働き盛り世代、子育て世代、障がい者、高齢者などのスポーツ未実施層の参加促進 障がいのある人・ない人が共にスポーツに親しむ機会の創出 サイクルスポーツ(自転車)や海洋性レクリエーション(カヌーなど)の普及 スポーツ傷害の予防 大規模なスポーツイベントの誘致とスポーツ交流の促進 スポーツ推進委員の活動促進 総合型地域スポーツクラブの組織拡充のための支援 スポーツボランティアの参加促進 スポーツ施設の利便性向上 スポーツ施設の計画的修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに資するスポーツ教室の開催 体力測定を活用した健康・体力の増進 スポーツの健康効果の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会等出場への支援 レベルの高い技術に触れるための支援 ジュニア期からトップレベルまでの一貫指導体制の構築 スポーツ団体の支援 指導者研修会の開催 スポーツ指導者公認資格の取得支援 スポーツ指導者養成事業にかかる情報提供 スポーツ協会法人化の検討 スポーツ協会ホームページの構築 	<ul style="list-style-type: none"> レベルの高い技術に触れるための支援(再掲) ジュニア期からトップレベルまでの一貫指導体制の構築(再掲) 異なる年代とのスポーツ交流機会の創出 ジュニアスポーツ団体の支援 指導者研修会の開催(再掲) 団体統合を促進するための支援 総合型地域スポーツクラブの組織拡充のための支援(再掲) スポーツ傷害の予防(再掲) 幼児期からの運動体験機会の提供 学校部活動の地域移行の条件整備 スポーツ施設の利便性の向上(再掲)
課題 (アンケート結果など)	<ul style="list-style-type: none"> 仕事をしている人のスポーツ参加 育児や家事で時間のない人が手軽に参加できる教室の開催 市イベントの参加促進 ふれあいの場としての地区イベントの活用 スポーツ教室への参加促進 スポーツ教室での体験が継続できる仕組みづくり みんなスポクラブの認知度向上と内容の充実 スポーツを通じた交流や出会いの場の創設 登山、クライミングなど自然を生かしたスポーツの普及 サッカー、野球等の施設環境の改善 コロナ禍でのスポーツ振興 ウォーキング、ジョギング、筋トレなど一人でもできるスポーツのきっかけづくり 施設利用環境の整備(利用手続きの見直し、利用案内、各種情報発信、バリアフリー化など) 施設老朽化に伴う修繕、長寿命化 学校再編に伴う旧学校体育施設の利活用 ニーズに即したスポーツ情報の提供 		<ul style="list-style-type: none"> 指導者の育成と資質向上 競技団体や指導者自らの研鑽による指導能力の向上 5年後、10年後に現状維持・活性化を図る(新規加入の促進) ジュニア期～トップレベルの一貫指導体制の確率 有望なジュニアの育成強化 団体運営等に関する相談体制の充実 スポーツ情報ネットワークの整備・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ジュニア期からトップレベルまでの一貫指導体制の構築 学校部活動の指導体制(民間移行)に向けた条件整備 少子化、学校再編に伴うスポ少の統合 指導者、審判員の確保・育成 硬式野球のできる環境づくり 5年後、10年後に活性化できる方策(統合、指導者、活動費の経済的支援) 設備、器具の充実 強豪チーム等のハイレベルな相手との対戦支援 上位クラブ等での継続した競技活動 指導者の資質向上 利用手続きの簡素化(電子申請等)など利用しやすい施設の在り方 団体の統合に伴う負担軽減対策